

安全データシート

作成日	2017 年 9 月 26 日
改訂日	2026 年 8 月 5 日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	スルファミン酸 (Sulfamic acid)
供給者の会社名称	アーク株式会社
住所	大阪市中央区安土町 3-5-13
電話番号	06-6563-7710
FAX 番号	06-6563-7720
緊急連絡電話番号	06-6563-7710（上記電話番号に同じ）
推奨用途及び使用上の制限	めっき用浴 pH 調整剤、アルカリ滴定の標準溶液、塩素安定剤（水泳用プール等）、酸やニトリルの洗浄用、硝酸規定液の標定、試験研究用薬品、人口甘味料原料、医薬原料、酸性洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：JIS Z 7252：2025 及び JIS Z 7253：2025（GHS に基づく化学品の分類方法及びラベル・SDS の作成方法、GHS 第 9 版準拠）に基づき分類。

物理化学的危険性

火薬類	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
可燃性エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん）	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

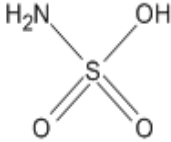
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 水生生物に有害 長期的影響により水生生物に有害
注意書き（安全対策）	取扱い後はよく手を洗うこと。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。 環境への放出を避けること。

注意書き（応急措置）	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
注意書き（保管）	データなし
注意書き（廃棄）	データなし
国・地域情報	特記事項なし

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	スルファミン酸
別名	アミド硫酸、(Amidosulfuric acid)、スルファミド酸、(Sulfamidic acid)、スルホアミン、(Sulfoamine)
分子式（分子量）	H3NO3S (97.09)
化学特性（示性式又は構造式）	
CAS 番号	5329-14-6
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	(1)-402
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし
濃度又は濃度範囲	100%

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状	吸入：灼熱感、咳、息切れ 皮膚：発赤、痛み、水疱 眼：発赤、痛み、重度の熱傷 経口摂取：胃痙攣、灼熱感、咽頭痛、嘔吐、ショック

最も重要な兆候及び症状	エーロゾルを吸入すると、肺水腫を引き起こすことがある。
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別注意事項	肺水腫の症状は2～3時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。医師または医師が認定した者による適切な吸入療法の迅速な施行を検討する。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び毒性の煙霧を発生するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱や燃焼により分解し、窒素酸化物、イオウ酸化物を含む有毒で腐食性のヒュームを生じる。この物質の水溶液は強酸であり、塩基と激しく反応し、腐食性を示す。塩素、発煙硝酸と激しく反応して、爆発の危険をもたらす。水と徐々に反応し、硫酸水素アンモニウムを生成する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
回収・中和	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化方法・機材	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
二次災害の防止策	プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
取扱い 局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
取扱い 安全取扱い注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。
取扱い 接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管 技術的対策	特別に技術的対策は必要としない。
保管 混触危険物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管 保管条件	容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

保管 容器包装材料	データなし
-----------	-------

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
濃度基準値（労働安全衛生規則第 577 条の 2）	設定されていない
許容濃度（日本産業衛生学会）	設定されていない
許容濃度（ACGIH）	設定されていない
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

形状	固体
色	無色
臭い	無臭
pH	1.18（1%溶液）（25℃）：Merck（14th, 2006）
融点・凝固点	200℃：Sax（11th, 2004）
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	不燃性：ホンメル（1996）
自然発火温度	不燃性：ホンメル（1996）
燃焼性（固体、ガス）	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	0.0000078 bar（20℃）：GESTIS（Access on Aug. 2009）
蒸気密度	データなし
蒸発速度（酢酸ブチル＝1）	データなし
比重（密度）	2.15g/cm ³ ：Merck（14th, 2006）
溶解度	水：21.3g/100g（20℃）：Ullmanns（E）（6th, 2003）
オクタノール・水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

粉じん爆発下限濃度	データなし
最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率（導電率）	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	加熱や燃焼により分解し、窒素酸化物、イオウ酸化物を含む有毒で腐食性のヒュームを生じる。この物質の水溶液は強酸であり、塩基と激しく反応し、腐食性を示す。塩素、発煙硝酸と激しく反応して、爆発の危険をもたらす。水と徐々に反応し、硫酸水素アンモニウムを生成する。
避けるべき条件	加熱や燃焼
混触危険物質	塩基、塩素、発煙硝酸、水
危険有害な分解生成物	窒素酸化物、イオウ酸化物を含む有毒で腐食性のヒューム、硫酸水素アンモニウム

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	ラットの LD50 値、>2000 mg/kg (OECD TG401 : GLP)、3160 mg/kg、2065 mg/kg、1450 mg/kg、1600 mg/kg (以上、IUCID (2000)) より、「区分に該当しない」に相当 3 件、区分 4 に相当 2 件により、該当数の多い JIS 分類基準の区分に該当しない（国連分類基準の区分 5）とした。
急性毒性（経皮）	データなし
急性毒性（吸入：ガス）	GHS の定義における固体である。
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし
急性毒性（吸入：粉じん）	データなし
皮膚腐食性・刺激性	ウサギを用いた試験 (OECD TG404 : GLP 準拠) で刺激性あり (irritating) の結果 (IUCID (2000)) があり、さらに別にウサギを用いた複数の試験では刺激性なし (not irritating) ～重度の刺激性 (highly irritating) の結果 (IUCID (2000)) が得られている。これらの結果に加え、EU 分類では、Xi; R36/38 に分類されていることから、区分 2 とした。なお、1%溶液の pH が 1.18 との情報 (Merck (14th, 2006)) もある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギを用いた試験 (OECD TG405 : GLP 準拠) で刺激性あり (irritating) の結果 (IUCID (2000)) があり、さらに別にウサギを用いた複数の試験では中等度の刺激性 (moderately irritating) ～重度の刺激性 (highly irritating) の結果 (IUCID (2000)) が得られている。これらの結果に加え、EU 分類では、Xi; R36/38 に分類されていることから、区分 2A とした。なお、1%溶液の pH が 1.18 との情報 (Merck (14th, 2006)) もある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性	マウスに経口投与による赤血球を用いた小核試験 (OECD TG474:GLP 準拠)（体細胞 in vivo 変異原性試験）において陰性 (IUCID (2000)) の結果に基づき、区分に該当しないとした。なお、in vitro 試験では、Ames 試験の陰性結果の報告がある (IUCID (2000))。
発がん性	データなし

生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	ラットを用いた 90 日間混餌投与試験（OECD TG 408；GLP）において、高用量の 20000 ppm で成長遅延、臓器重量増加、一部の動物では腎尿細管のわずかな脂肪変性以外に影響は認められていない（IUCLID(2000)）。また、NOAEL が 10000 ppm（500 mg/kg bw/day に相当）と報告されていることに基づき、経口経路では「区分に該当しない」に相当する。しかし、他の投与経路によるデータがなく「分類できない」とした。なお、ヒトで酸性ヒュームの長期ばく露により慢性咳を伴う気管支刺激や気管支肺炎がよく起こるとする記述（DHP（13th, 2002））がある。
誤えん有害性	データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	魚類（ファットヘッドミノー）における 96 時間 LC50 = 70.3mg/L（ECETOC TR91, 2003）であることから、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	急性毒性区分 3 であり、急速分解性がない（BIOWIN）ことから、区分 3 とした。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報	I M Oの規定に従う。 UN No. 2967 Proper Shipping Name : SULPHAMIC ACID Class 8 Packing Group III Marine Pollutant : Not Applicable
国際規制 航空規制情報	I C A O・I A T Aの規定に従う。 UN No. 2967 Proper Shipping Name : Sulphamic acid Class 8 Packing Group III
国内規制 陸上規制情報	規制なし
国内規制 海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。 国連番号 2967 品名 スルファミド酸 クラス 8 容器等級 III

	海洋汚染物質 非該当
国内規制 航空規制情報	航空法の規定に従う。 国連番号 2967 品名 スルファミド酸 クラス 8 等級 3
特別安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	154

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	名称等表示・通知対象物質（安衛法第 57 条・第 57 条の 2、労働安全衛生規則別表第 2 の 1135）及び危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）対象物質（安衛法第 57 条の 3）に該当（施行日：令和 8 年 4 月 1 日）
船舶安全法	腐食性物質（危規則第 3 条危険物告示別表第 1）
航空法	腐食性物質（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）
港則法	危険物・腐食性物質（法第 21 条 2、則第 12 条、昭和 54 告示 547 別表二ロ）

1 6. その他の情報

適用規格	本安全データシートは、JIS Z 7252 : 2025 及び JIS Z 7253 : 2025（GHS に基づく化学品の分類方法及びラベル・SDS の作成方法、GHS 第 9 版準拠）に基づき作成した。
参考文献	各データ毎に記載した。
免責事項	本安全データシート（SDS）に記載した内容は、現時点で入手可能な資料及び情報に基づいて作成したものであり、記載内容の完全性及び正確性を保証するものではありません。また、本 SDS は今後、新たな知見や法令改正等により、予告なく内容を変更することがあります。 お取引先各位におかれましては、本 SDS の情報を、当該製品を安全に取扱うための参考情報としてご利用いただき、実際の取扱いにあたっては、自らの用途・使用条件・作業環境等に応じて必要な安全対策を講じるとともに、関連法令を遵守していただきますようお願いいたします。 本 SDS は製品の品質を保証するものではなく、本 SDS の記載内容に関連して生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。